

2013 年度 事業方針

2013 年度の「動く→動かす」の事業方針を、運営、パブリック・モビライゼーション、政策、TICAD の4分野に分けて以下、紹介いたします。(注:目標は「達成されるべき状態」なので、「～になる」という書きぶり、実施事項は、目標を達成するために実施する事項なので「～をする」という書き方になっています。)

運営	目標	<ul style="list-style-type: none"> 国際協力 NGO セクターにおけるアドボカシー・政策提言業務が普及し、より広い基盤に基づいてアドボカシー活動ができるようになる。 チーム活動に、より多くの NGO が積極的に参加している。 「動く→動かす」の NGO セクターにおける基盤がさらに堅固なものになる。(加盟団体数 80 団体、正会員数 40 団体) 財源の多角化を図る。アドボカシー事業における海外財団への依存を減らし、国内民間財団、宗教界、労組、生協等、国内でのより多くの人々の支援に基づいて活動ができるようになる。
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 「スタンド・アップ」や「TICAD」関係業務などを通じた、国内民間財団や関係セクターとの幅の広い交流の実施を行う。 国内国際協力 NGO 向けのアドボカシー講座などの実施を行うなどしてアドボカシーやキャンペーンに関わる参加 NGO やメンバーの数を増やす。 会員団体との、より積極的な連携・協力、コミュニケーションを追求する(定期的なイベントの開催や、こまめな訪問・相談など)
パブリック・モビライゼーション	目標	<ul style="list-style-type: none"> スタンド・アップに 47 都道府県から 5 万人以上の人々が参加している。 首都圏以外の地方において「動く→動かす」が仲介した地域国際協力イベントが 8 カ所以上で開催される。 スタンド・アップにおける他分野(国際協力分野以外)との連携が拡大される。 加盟団体経由のスタンド・アップ参加者数が昨年より増加している。 ポスト 2015 開発目標の策定プロセスの現状と理念の認知度が高まる。
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 14 日から 10 月 20 日までスタンド・アップ キャンペーンを実施する。 地域で自主的に動ける複数のグループを仲介し、国際協力イベント実施への働きかけを行う。 広報の一環としての公募の実施と、国際交流協会などの全国組織へのスタンド・アップ参加働きかけを行う。 加盟団体がかかわりやすい企画や各団体の会員を巻き込みやすい企画を提案する。 ポスト 2015 開発目標に関するキャンペーンロゴとスローガンを募集する。
政策	目標	<ul style="list-style-type: none"> ODA 予算において MDGs 分野の規模が維持される、または増額される。 非 ODA の開発資金政策論議に関する知識が深まる。租税問題に関する国内論議における、開発問題への関心が高まる。ポスト MDGs に関する提言内容が、貧困層の存在を軸とし公平性を重視し、権利ベースで正義にかなったものとなる。 ポスト MDGs について、環境問題に取り組む NGO や、その他隣接分野の NGO 等と連携してアドボカシーができるようになる。 「動く→動かす」の提言内容が、政府内部やさまざまな民間セクターに普及し、注目が集まる。 「動く→動かす」および加盟団体が新たな開発課題やトレンドに関する政策的知見が深まる。 外務省に加え、財務省など関連省庁、また、国会議員など、政策決定に関わるステークホルダーとの関係が強化される。

	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ ODA 予算プロセスへの積極的なアドボカシーを行う。 ・ 租税回避に関する国内論議に参加し、「階層間の税の公正」や「開発・貧困削減のための富の再分配」「ポスト 2015」の視点を紹介する。 ・ 「ポスト MDGs 意見交換会」について、今後のポスト MDGs の検討の方法や段階に適合的な形で枠組みを設定し、その他のプロセスにも関与する。国内市民社会に情報を普及し、市民社会としての合意形成をリードする。 ・ JICA、財務省、議員、メディアに加え、新たに国内貧困・環境系 NGO、企業との関係構築を積極的に行う。 ・ さまざまなプロセスに積極的に関与する ・ 「普及」プロジェクトを通じて他分野との関係構築や議論の浸透を図る。
TICAD	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ TICAD V の総括が適切になされ、TICAD V のフォローアップおよび TICAD VI に向けた新たなネットワークが構築される。 ・ TICAD V の総括の結果を踏まえ、TICAD V フォローアップに向けて、アフリカ開発・外交に関わる提言活動が幅広いネットワークを通じて行われる。また、ポスト MDGs への取り組みとの連携も強化される。 ・ アフリカ側の市民社会カウンターパートとのよりよい、より包括的な関係が構築されている。また、ここを通じて、アフリカ連合などへの働きかけなども可能になっている。
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループメンバーで評価・方向性検討ミーティングを開催ならびに報告書の作成を行う。 ・ TICAD V NGO コンタクト・グループを、TICAD V フォローアップ、TICAD VI に向けたネットワークに発展改組する。 ・ NGO 外務省政策対話の機会及び、他の共催者との政策対話の機会を通じて行う。 ・ 議員や政党並びに協力者への働きかけを行う。 ・ アフリカ側市民社会との関係のあり方を、総括を踏まえて改組し、より効果的・効率的に政策提言や交流、意見交換ができるようにする。

以上